

[メチオゾリン乳剤]

ポアキュア

有効成分：メチオゾリン 25.0%
その他PRTR該当成分：ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム（化管法1種）

性状：淡黄色澄明可乳化油状液体
毒性：－
危険物：第四類第二石油類
有効年限：4年
包装：100ml×10本

ポアキュア／POA CUREは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- 脂肪酸の生合成に関わる脂肪酸チオエステラーゼを阻害し、既存の除草剤とは異なる枯殺作用を示す。
- スズメノカタビラおよびメヒシバに対し優れた除草効果を示す。
- 発生後のスズメノカタビラに対しても優れた除草効果を示す。
- ベントグリーン内およびグリーン周りで使用できる。

〔適用雑草と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	メチオゾリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	スズメノカタビラ	春夏期 芝生育期 (雑草生育期)	0.2～ 0.4ml /㎡	200～ 300ml /㎡	4回以内	全面土壌 散布	4回以内
	一年生 イネ科雑草	春夏期 芝生育期 (雑草発生前)					
秋冬期 芝生育期 (雑草発生前～発生初期)							
西洋芝 (ケンタッキー ブルーグラス) 日本芝 (こうらい しば)		芝生育期 (雑草発生前)		200～ 600ml /㎡			

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失ないように散布する。
- 夏期の高温ストレス等により芝（特に根部）の生育が劣っている場合は、一時的に黄変等の薬害を生じることがあるので十分注意する。
- 0.2ml/㎡の薬量を散布する場合は、反復処理することで効果が安定する。反復処理する際は、1回目の処理後1ヶ月以上間隔をあけて2回目を処理する。

- 土壌が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布する。
- 激しい降雨が予想されるときには使用をさける。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。



- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし適切に処理する。
- 危険物第四類第二石油類に該当するので火気には十分注意する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させて回収する。

[保管]：火気や直射日光をさけ、食品と区別して、低温場所に密栓して保管する。

化管法に対するその他の注意事項は別表の分類4に表示してある。

農薬登録（登録番号）：エス・ディー・エス バイオテック（23809）

販売：丸和バイオケミカル